

幸南の風



令和4年5月13日 校長 伊藤 公一 第3号

仕切り直しの授業参観・懇談会



(須藤先生にとっても初めての授業参観～「とても緊張しました」とのコメント)

校長あいさつ

本日はお忙しい中、授業参観・懇談会においでいただき、ありがとうございます。保護者の皆様には、日頃より学校に対しましてご支援・ご協力をいただきまして、大変ありがとうございます。感謝申し上げます。

さて、本来であれば4月23日の予定でしたが、コロナの影響で本日に延期したこと、ご理解ください。1学期も約1ヶ月が過ぎました。来週には運動会があります。残念ながら今年度も学区民運動会はできず、学校単独の運動会です。天気になることを祈っています。さて、本日の授業参観、子どもたちの学習の様子はいかがでしたか。本年度、幸町南小学校は新1年生34名を加え、児童数281名、14学級でスタートしました。

今年度もPTA総会は誌面による総会でしたので、今年度の学校経営について、少しお話しし

ます。本校では、学校教育目標「心豊かにたくましく生きる子どもの育成～笑顔あふれる学校、楽しい学校、みんなと共に成長する学校」(笑楽校共育)～を目指して、取り組んでいます。今年度は、次の三つの重点事項を掲げ、教育活動を展開しています。ここからはスライドをご覧ください。

1つ目は、基本的生活習慣の育成です。「5つの「あ」の励行」です。

- ①安全 (ガイドラインに基づいた感染症対策の徹底, けが防止など)
- ②朝 (早寝, 早起き, 朝ご飯等を意識した生活習慣の奨励)
- ③挨拶 (明るく元気な挨拶の励行, 児童会による挨拶運動等)
- ④遊び (外遊びの奨励, 体力向上)
- ⑤ありがとう (いじめ防止の取組や心の教育の充実)

2つ目は、学力向上です。「主体的・対話的で深い学びの授業改善」です。

- ①主体的な学びの授業実践
- ②協働的な学びの授業実践
- ③高学年教科担任制の導入
- ④個別最適な学び (ICT教育の推進)
- ⑤ユニバーサルデザインの考えに基づく授業
- ⑥学習習慣を身に付けさせるための取組 (幸南スタンダードの活用)
- ⑦家庭学習の充実定着 (オンライン学習)
- ⑧読書活動の推進

3つ目は、自己肯定感・自己有用感の育成です。「リーダーインミーの実践」です。本校では、昨年度より3年間の研究指定を受け、財団

法人フランクリン・コヴィー・エデュケーション・ジャパンの支援を受けながら「7つの習慣」に基づく教育プログラム「リーダーインミー」に取り組んでいます。「リーダーインミー」とは、自ら考えて行動できるセルフリーダーシップ、他者と協働できるリーダーシップの両方を備えた人格を育むために「7つの習慣」を活用し自己肯定感を高め、生き方を学ぶプログラムです。学校・保護者・地域が連携し、子どもたちのリーダーシップを育む学校文化を築くことを目標にしています。昨年度の成果は、先生方の理解が進んだ。学習していく全校児童の土台ができて、「共通言語」が子どもたちに定着しつつある。7つの習慣による指導の軸ができ、全校での指導や声かけが統一できるようになった。また昨年の課題を受け、自己肯定感や自己有用感を持ち、主体的・協働的に生きる児童を育てていくために、引き続き「リーダーインミー」への取組を全校で研究しています。協働型

学校評価では、○5つの「あ」の励行、○リーダーインミーによる習慣化が目標になります。どうぞ、ご家庭でも一緒に声かけ、実践していただけると幸いです。

最後になりますが、コロナ渦ということで昨年度から一人一台の端末が用意されました。本来であれば何年かかけての導入でしたが、コロナの影響で何年と待たず国は導入しました。それは、コロナに対する対策でもありますが、学力観の変化、パラダイム（物の見方や捉え方）の変化が世の中に起こっているからです。今後、大学入試センター試験や全国学力テストが紙や鉛筆ではなく、端末を使用するものになります。学校としても、端末の使用に関しては、自己責任を理解させながら積極的な活用を促しています。それが、児童にとって、学びに向かう力や個別最適な学び、協働的な学びが実現することになるからです。